



家庭学習は音読から

校長 大坂 充

小樽市教育委員会では児童の家庭学習として「音読」を推奨しています。音読は、だれでも、簡単にできる最も効果の上がる勉強の仕方の一つです。音読によって、脳の国語力や創造力にかかわる部分が特に活性化するという脳科学者の見解もあります。教科書の作品を、正確にすらすらと読むことができるようになるまで、音読カードを活用して、毎日、音読するように各学校でも取り組んでいます。本校の「家庭学習ノススメ」にも、全学年に毎日の音読があり、各自取り組んでいると思います。

さらに10年前の平成24年には、音読を市民みんなで取り組むものとしたいとの願いから、『潮まつり』と『音読』をイメージしたキャラクター『潮おんどくん』のデザインを、市内小中学校児童生徒から募集してキャラクターを作成したり、市内の小中学生による『音読カップ』を開催したりして音読の普及に努めました。

新型コロナウイルスのため、2年間中止となっていた『小樽音読カップ』が11月12日（土）、小樽市民会館で3年ぶりに開催され、市内の小学1年生から中学生まで75名が、各校の代表として日頃の練習の成果を発表しました。本校からも校内予選を経た5名が参加し、堂々と発表することができました。

結果は、低学年の部で2年の石川 桃さんが最高賞である金賞を、中学年の部では、4年の北出 梨紗さんが銀賞、3年の平岡 京さんが奨励賞をいただきました。おめでとうございます。高学年の部に参加した2人も、練習の成果を発揮し、最高のパフォーマンスを披露してくれました。予選に挑戦した人も含むみなさんに、大きな拍手を送りたいと思います。



低学年の部



R4中学年の部点「わかったことや思ったことを伝えるこ 高学年の部
「自分の体を知り、体力向上や健康に気を付ける」「よりよいものを作り出すために協働できる」

第 68 回青少年読書感想文全道コンクール

先月の学校だよりで小樽青少年読書感想文コンクールに応募した作品から 11 名が入賞し、さらに道の読書感想文コンクールに応募したことをお知らせしました。同じように全道各地の厳しい地方審査を経て応募された 646 点の作品を、全道レベルで厳正に審査した結果、本校から、6 年の塚原 大海さんの特別賞をはじめ、以下の 5 名が入賞しましたのでご紹介します。おめでとうございます。

特別賞「北海道学校図書館協会長賞」 6 年 塚原 大海

※数ある特別賞の中でも上から 4 番目にあたる賞です。塚原さんの感想文は北海道代表として第 68 回青少年読書感想文全国コンクールに応募します。

優秀賞 小学校 低学年の部 2 年 田中 美帆 ・ 高学年の部 6 年 村上 佑
優良賞 小学校 低学年の部 2 年 伊藤 環 ・ 高学年の部 6 年 小泉 真歩

新型コロナウイルス感染症 感染状況

新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ると、全国各地で感染拡大が見られ、依然として厳しい状況が続いています。特に北海道は、観光や外出が日常化するとともに、寒さで換気が十分にできない状況になり、他都府県に比べて感染が拡大しやすくなっています。

市内でも 11 月 5 日には 1 日の感染者数としては最多の 266 人の感染者が発表されました。これに伴い市内の小学生の感染者数も、11 月に入ってから連日 100 名を越えており、学級閉鎖もあちらこちらで発生しています。本校では 10 月以降学級閉鎖は行っていないが、常時複数名の陽性者がおり、綱渡りの状態が続いています。

学校では、これまで同様の感染対策を確実に実行してまいります。各ご家庭におきましても、引き続き三密を防ぐ、手指消毒や手洗い・うがいの履行、鼻・口を確実に覆うマスクの着用、友達を含む家族以外の方と接触する際の確実なマスク着用、本人やご家族にかぜ等の症状がある場合は登校させないことの徹底などを確実に実行するようお願いします。

ボス川柳

北海道新聞に掲載された作品を紹介します。
(一〇月二五日掲載)
ウポポイで アイヌ文化に ふれた旅



「寄り添おう 気持ちから行動へ」いじめ防止キャンペーン

いじめは、次代を担う子どもたちの基本的人権を脅かす絶対に許されない問題です。小樽市教育委員会は、学校教育に携わる全ての関係者一人一人が、あらためていじめ問題の重要性を認識するとともに、学校・家庭・地域・関係機関が一体となって、いじめ問題を解決するために「いじめ防止強調期間」を定め、「いじめ防止キャンペーン」を実施しています。

- 1 期 間 令和 4 年 11 月 1 日 (火) ～令和 4 年 12 月 31 日 (土)
- 2 テーマ 「寄り添おう 気持ちから行動へ」
- 3 内 容
 - ・ いじめアンケートと聞き取り、指導の実施
 - ・ 担任や養護教諭等による教育相談やスクールカウンセラーとの連携
 - ・ 登下校時の校内外の巡回や市教委主催研修会への参加
 - ・ 道徳・学級活動における指導の充実や全校朝会における周知・啓発
 - ・ 本校児童会と西陵中学校生徒会による「いじめ防止サミット」の実施 など

※各ご家庭におきましても、お子様の様子で気になるところなどがございましたら、いつでもご相談ください。

R4 3つの重点「わかったことや思ったことを伝えることができる」
「自分の体を知り、体力向上や健康に気を付ける」「よりよいものを作り出すために協働できる」